



校長室より



令和 7 年 9 月 26 日

No.23

自分らしく生きる 豊かに生きる

和歌山大学の美術科教室の先生に教えていただきました

9月25日(木)に、和歌山大学教育学部美術科教室の寺川教授と永沼教授に本校に来ていただき、美術の授業をしていただきました。中学部は3・4限目に永沼教授から紙工作「ゴムで走る車」を製作しました。廊下をまっすぐ走ると歓声が上がっていました。高等部選択美術の生徒は5・6限目に、寺川教授から素焼きのプレートに絵付けをする陶芸体験を教えていただきました。素焼きのプレートに各自が陶芸用の絵の具で思い思いの絵を描きました。この日は絵付けしたプレートを釉薬にくぐらせるまでの工程を行いました。どんな絵が浮き上がってくるか仕上がり楽しみです。



卒業生の先輩から話を聞きました

9月25日(木)、高等部2年の「産業社会と人間」の授業に、現在、通信制大学でITとビジネスの専門分野を学んでいる8年前の卒業生の狩谷氏にゲストで話をしてもらいました。狩谷氏は、高等部を卒業した後、就労継続支援B型事業所で仕事をしていたが、経営者や指導員の考え方を理解するために、一念発起して通信制大学で学びなおす決意をされました。今は、3年目ということです。彼が学ぶ大学はフルオンラインで、通学ゼロで学べるところに特色があります。自分の関心や将来像に合わせて科目を選べる柔軟性がありますし、学習成果に伴ってオープンバッジを獲得でき、キャリアに活用することができます。これまで、就労している先輩や大学に通っている先輩から話を聞く機会があっても、通信制大学で学んでいる先輩の話は初めてです。授業に希望者として参加していた3年生からもフルオンラインの学び方などに質問が出ました。後輩たちに新たな選択肢を示していただいたのではないのでしょうか。

